



藤沢市議会議長 加藤 一 様

加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成を求める
意見書提出についての陳情



全日本年金者組合神奈川県本部

藤沢支部支部長

菅野和男

住 所 〒252-0807

神奈川県藤沢市下土棚2012-1

陳情理由

市議会議長におかれましては、日頃から市民のための行政運営にご尽力いただいていることに敬意を表します。

高齢者で組織している年金者組合は、難聴者も多く、高額な補聴器を購入することが困難で購入のため費用の公的助成を強く願っています。

高齢化がすすむなかで、補聴器を必要とする高齢者が増加しています。わが国の難聴者は推計1430万人（日本補聴器工業会調べ）に対し、補聴器所有者は約210万人（14.4%）とヨーロッパ先進国に比べ（37～48%）極端に低くなっています。

現行制度では、障がい者手帳の交付を受けた人を対象にした医療補助制度のみのため、加齢性難聴による中・軽度は対象になりません。値段も1台5万円から50万円と高額のため低年金・無年金の高齢者は購入したくてもできません。

このような実態の中で、近年、住民の声を受け自治体が独自に補聴器購入の助成事業を実施してきていますが、まだごく一部の自治体です。

最近では聞きにくさが、ひいてはうつ病や認知症の危険因子になること、早期発見が難聴の度合いを遅らせること等も指摘されています。補聴器の普及により、高齢者が地域でつながり孤立を予防し、結果として健康寿命の延伸となり、医療抑制にも寄与するものと考えます。

陳情項目

- 1、国に対して、加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成を求める意見書を上げてください。

以上